

■ 高周波熱錬株式会社 赤穂工場

(赤穂市東有年 1 5 8 6 - 1)



高周波熱錬(ネツレン)は昭和 21 年に設立、昭和 50 年東証一部上場され、設立時より終始一貫、クリーンな高周波誘導加熱技術分野のパイオニアカンパニーとして、技術開発と品質・環境保全の発展に取り組んでいます。

赤穂工場は、昭和 46 年 10 月清流千種川の畔に、土木・建設に不可欠な材料である高強度 P C 鋼棒製造の西日本の拠点として操業を開始しました。“より強くよりしなやかに ファインヒートテクノロジー”をスローガンに、以後 40 年に亘り、千種川及びその周辺の環境保全への取り組みと、高周波熱錬(ネツレン)の主力工場として事業活動を行い、平成 20 年 8 月には環境マネジメントシステム(JIS Q 14001/ISO14001)の認証登録を受けました。大気と水は、人にとってとても重要な要素であり、クリーンな電気を使用した省エネ型高周波誘導加熱装置による材料加熱及び化学物質を含まないクリーンな冷却水は、環境保全に配慮したものと強く認識しています。この度の赤穂市環境パートナーシップ登録事業所としての登録を受け、赤穂市との環境保全協定の遵守はもとより、環境保全に向けた継続的改善を徹底し、今後とも清流千種川の環境保全に取り組む所存です。



製品事業部環境方針

理 念

高周波熱錬株式会社製品事業部は、かけがえのない地球の環境保全が、人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、経営活動の重点課題としてとらえ、地球、地域社会の環境保全を積極的に推進する。

方 針

クリーンな高周波誘導加熱技術分野のパイオニアカンパニーとして、次の事を実施する。

- (1) 製品の開発・生産活動の各段階及び製品・サービスの提供において、環境汚染の予防に努めるとともに創意工夫で環境負荷の継続的改善に努める。
- (2) 環境側面に関係する法規制、条例及び同意するその他の要求事項を順守し、環境マネジメントシステムを運用する。
- (3) 具体的な環境目的及び目標を定め、これらの達成に努めるとともに、定期的に見直し、必要に応じて改訂する。
- (4) 継続的改善として、省エネルギーの推進と省資源、リサイクル化、廃棄物の削減を図る。
- (5) 環境保全に関連する改善活動は、TQM活動計画に盛り込み、製品事業部の全従業員に周知徹底を図るとともに、従業員は改善活動に取り組む。
- (6) この環境方針を達成するため、製品事業部の従業員は、環境マネジメントシステムを順守する。